Ⅳ-1　北海道

外国人旅行者による道内周遊が加速
道内で宿泊税や入湯税を巡る議論が拡大
北海道日本ハムファイターズの新拠点は北広島市に決定

(1) 都道府県レベルの旅行者動向

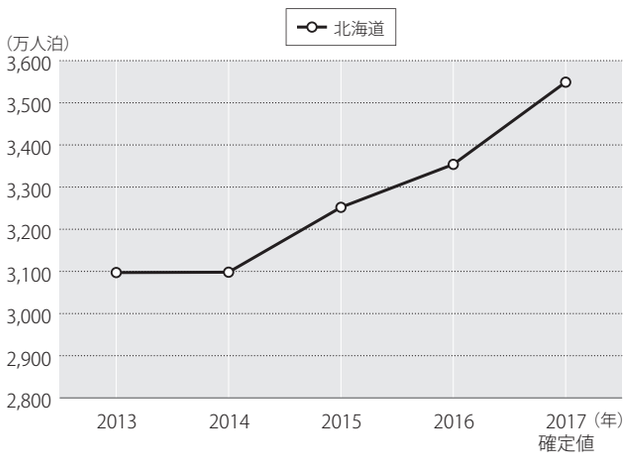
観光庁「宿泊旅行統計」によると2017年1月から12月の北海道の延べ宿泊者数は、3,556万人泊となり、前年比プラス6.0%の伸びを記録した。都道府県別の伸び率では12位となり前年の4位から後退したが、上位は九州や四国の各県で占められており、東日本では福島県に次ぐ4位となった。なお、延べ宿泊者数は東京都に続く第2位を維持した。また、外国人延べ宿泊者数は、7,702千人泊となり、前年比プラス17.5%と続伸している。

一方、北海道の「観光入込客数調査」(北海道庁) による2017年の延べ宿泊者数は前年比でプラス4.1%の3,644万人泊となった。また、外国人の延べ宿泊者数は前年プラス14.4%の7,158千人泊となり、観光庁の「宿泊旅行統計」同様、延べ宿泊者数と外国人延べ宿泊者数ともに堅調に推移した。

圏域別では、2016年の豪雨災害などで同年夏期の旅行者数が伸び悩んだことによる反動を背景に十勝圏域が前年比で9.8%のプラスになったほか、道北圏域は花観光の定着などによって同5.6%のプラスを記録した（表Ⅳ-1-1)。

また、外国人の延べ宿泊者数は航空路線の拡大や各国・地域における北海道人気の継続が成長を後押し、対前年で38.4%のプラスとなった韓国を中心に、軒並み増加した。特に新千歳空港では、2017年3月に日中時間帯の発着枠が毎時32回から42 回へと拡大され、国際線や格安航空会社（LCC）が就航したことで、北海道を訪れる外国人旅行者数の押し上げに大きく寄与した（表Ⅳ-1-2)。

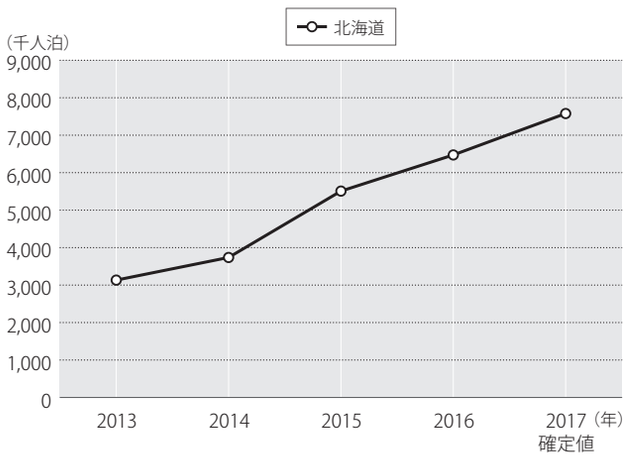
図Ⅳ-1-1　延べ宿泊者数の推移（北海道）



都道府県名	2013	2014	2015	2016	2017
北海道	3,097	3,098	3,259	3,355	3,556

単位：万人泊
資料：観光庁「平成28年宿泊旅行統計調査」をもとに（公財）日本交通公社作成

図Ⅳ-1-2　外国人延べ宿泊者数の推移（北海道）



都道府県名	2013	2014	2015	2016	2017
北海道	3,070	3,891	5,641	6,554	7,702

単位：千人泊
資料：観光庁「平成28年宿泊旅行統計調査」をもとに（公財）日本交通公社作成

表Ⅳ-1-1　道内の圏域別延べ宿泊者数の増減

	2016年	2017年	前年比増減
北海道	3,502	3,644	4.1
道央圏域	2,008	2,078	3.4
道南圏域	482	500	3.7
道北圏域	438	462	5.6
オホーツク圏域	183	187	2.1
十勝圏域	192	211	9.8
釧路・根室圏域	198	207	4.3

単位：万人泊、%
資料：北海道「観光入込客数調査」をもとに（公財）日本交通公社作成

表Ⅳ-1-2　道内の国籍・地域別延べ宿泊者数の増減

	2016年	2017年	前年比増減
全国籍	6,259	7,158	14.4
台湾	1,591	1,708	7.4
中国	1,407	1,615	14.8
韓国	825	1,142	38.4
香港	671	759	13.0
シンガポール	324	372	14.8
タイ	353	367	3.8
マレーシア	264	262	▲0.7
オーストラリア	263	231	▲12.2
アメリカ	127	150	18.6
インドネシア	56	75	32.2
その他	376	477	26.8

単位：千人泊、%
資料：北海道「観光入込客数調査」をもとに（公財）日本交通公社作成

(2) 観光地の主な動向

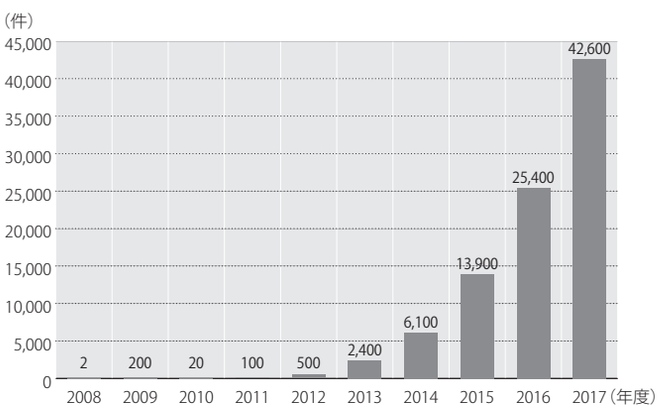
●活発化する外国人旅行者の道内周遊

2017年は来道した外国人旅行者数が大きく増えただけでなく、JR北海道フリーパスやレンタカー観光の浸透、旭川空港への台湾からの定期便復活などもあり、道内の周遊が一層活発化した。

東日本高速道路株式会社によれば、同社が販売する訪日外国人限定の高速道路乗り放題パス「Hokkaido Expressway Pass」の販売実績は2016年度の25,400件から42,600件に増加した。また2017年度の国籍別販売実績では韓国が26.7%を占め第1位となり、次いで香港が25.6%、台湾18.2%となった。先述した韓国からの来道旅行者数そのものの増加に加え、従来はシンガポールや香港を中心に拡大してきたレンタカー観光が韓国にも浸透しつつあることがうかがえる（図Ⅳ-1-3、図Ⅳ-1-4）。

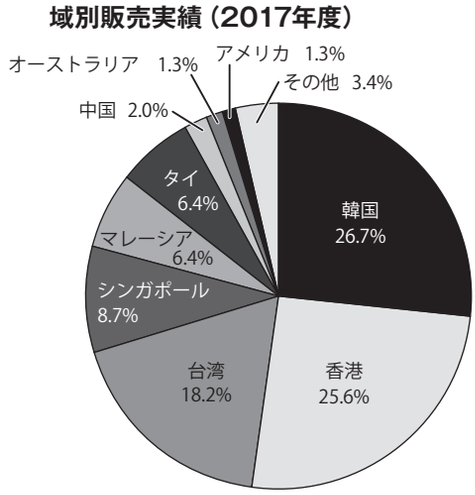
また、「観光入込客数調査」（北海道庁）によれば、韓国人宿泊者数は十勝圏域で前年度比96.3%のプラスとほぼ倍増しており、釧路・根室圏域でも同64.8%のプラスと大きく成長しており、従来の定番であった道央圏域や北海道新幹線の開業でアクセスが改善した道南だけでなく、レンタカーを利用して道内の比較的広範なエリアを訪れていることがうかがえる。

図Ⅳ-1-3 「Hokkaido Expressway Pass」の販売実績



資料：東日本高速道路株式会社資料をもとに（公財）日本交通公社作成

図Ⅳ-1-4 「Hokkaido Expressway Pass」国・地域別販売実績（2017年度）



資料：東日本高速道路株式会社資料をもとに（公財）日本交通公社作成

●北海道新幹線2年目は揺り戻しで微減

2016年3月26日に開業した北海道新幹線は、開業2年目を迎え、2017年度の道南圏域への入込客数は軒並み前年度比で減少に転じた。新函館北斗駅前のホテルオープンや奥尻島フェリー航路の新船就航などがあったものの、新幹線の開業効果が落ち着き、いわゆる揺り戻しによって2017年度から一転、前年度比でマイナスを記録した。また冬期の大雪も道南圏域の入込客数を押し下げた一因と考えられる。

表Ⅳ-1-3 渡島管内の観光入込客数

	平成29年度（単位：万人）			前年度比（単位：%）		
	道外客	道内客	合計	道外客	道内客	合計
函館市	342.1	182.6	524.7	▲9.0	▲1.1	▲6.4
北斗市	20.2	79.5	99.7	▲14.6	▲20.6	▲19.4
松前町	8.7	36.1	44.8	▲4.2	5.0	3.1
福島町	0.7	5.9	6.5	▲14.3	▲12.8	▲12.9
知内町	4.3	10.2	14.5	▲7.5	▲17.2	▲14.5
木古内町	11.0	46.1	57.1	▲10.8	▲8.4	▲8.8
七飯町	130.4	53.4	183.8	▲10.5	▲1.2	▲8.0
鹿部町	2.9	43.1	46.0	13.8	▲5.1	▲4.1
森町	19.6	68.7	88.2	3.2	▲4.3	▲2.8
八雲町	17.0	39.1	56.1	▲13.1	▲9.6	▲10.7
長万部町	16.1	33.9	50.0	▲4.4	0.0	▲1.5

資料：渡島総合振興局「渡島管内観光入込客数調査」をもとに（公財）日本交通公社作成

●観光振興の財源確保に関する議論が拡大

2018年2月、道の諮問機関である北海道観光審議会は、観光客やビジネス客らから徴収する法定外目的税「観光税」を「宿泊税」の形式で導入すべきとする答申案をまとめた。また、倶知安町やニセコ町などでも「宿泊税」を巡る議論が始まったほか、上川町層雲峡温泉では、入湯税の値上げを認める条例改正が可決されるなど、観光振興を目的とした財源確保に向けた議論が道内で活発化した。

●北方領土経済交流に観光

2017年9月にロシア極東ウラジオストクで行われた日ロ首脳会談において、北方四島での共同経済活動が、海産物の養殖、野菜栽培、風力発電、ゴミ処理と観光ツアーの5項目から優先的に取り組まれることが合意された。これに伴い官民の調査団による北方四島の観光資源やインフラなどに関する現地調査が開始された。北方四島には貴重な生態系や温泉など豊富な観光資源があり、近い将来の日ロ共同経済活動の実現が期待される。

●道の駅のオープン

インバウンド市場のFIT化などを背景にここ数年レンタカー観光が堅調に推移していることを受け、道の駅の新規開業やリニューアルが相次いだ。十勝の上士幌町では、道の駅の移転によって2017年4月に「ピア21しほろ」がリニューアル・オープンしたほか、道北の大空町では、道の駅「ノンキーランドひがしもこと」が2017年9月に、道南の七飯町でも道の駅「な

ないろ・ななえ」が2018年3月にそれぞれ開業した。さらに道央では、当別町の「北欧の風　道の駅とうべつ」、石狩市の「道の駅石狩　あいろーど厚田」がそれぞれ開業し、道内の道の駅は全国で最多の122か所となった。

(3) 市町村の動き

●札幌市観光まちづくりプラン改訂

札幌市は2013年に策定し、2015年に改訂を行った「札幌市観光まちづくりプラン」を2017年3月に再度改訂した。当初より内外の環境変化に伴い改訂を行うことが明記されており、国や北海道による主にインバウンドに関する数値目標の設定や新千歳空港の就航便の拡大などを踏まえ、数値目標の上方修正や受入環境の充実及び強化の重点施策化、インバウンドの誘致対象の欧米圏への拡大などを行った。

表Ⅳ-1-4　札幌市観光まちづくりプランの改訂（概要）

	改訂前	改訂後
目標像	産民学官が連携する観光まちづくりの実現	変更なし
数値目標	年間来客数（22年度） 1,500万人 うち道内客　900万人 うち道外客　443万人 うち海外客　157万人	年間来客数（22年度） 1,800万人 うち道内客　1,000万人 うち道外客　450万人 うち海外客　350万人
	観光消費額（22年度） 4,700億円 旅行消費額（道内客） 23,000円 旅行消費額（道外客） 39,000円 旅行消費額（海外客） 73,000円	年間来客数（22年度） 7,000億円 旅行消費額（道内客） 23,000円 旅行消費額（道外客） 50,000円 旅行消費額（海外客） 120,000円
	平均滞在日数（雪まつり時期） 道外　4.0日 海外　4.9日	平均滞在日数（22年度） 道外　1.3日 海外　1.4日
	再訪意欲 「ぜひまた来たい」比率 66.0%	変更なし
基本方針	札幌らしい都市文化やライフスタイルの魅力を生かした観光の創造	札幌・北海道の魅力を生かした観光の創造
	受入サービス・おもてなしの向上と着地型観光事業者の育成	受入サービス・おもてなしの向上と着地型観光の促進
	来訪者の滞在・周遊・再訪を促進する情報提供機能の強化	滞在・周遊・再訪を促進する情報提供の強化
	札幌・北海道の魅力を生かし、共に未来を創造していくプロモーションの展開	未来を創造していくプロモーションの展開
重点施策		「観光客受入環境の充実及び強化」を追加

資料：札幌市「札幌市観光まちづくりプラン改訂版」をもとに（公財）日本交通公社作成

●ファイターズの新球場建設予定地が北広島市に決定

2016年にプロ野球の北海道日本ハムファイターズが表明した新球場を核とするボールパークの建設予定地が、18年3月、北広島市の「きたひろしま総合運動公園」に決定した。

構想が表面化した2016年5月以降、同公園に加え、札幌市北区の北海道大学の一部、同市豊平区の旧道立産業共進会場周辺、同市南区の道立真駒内公園などが候補地として検討されてきたが、最終的に36.7ヘクタールと広大な土地を確保できる「きたひろしま総合運動公園」に決定した。球団が2月に公表した整備イメージでは、新球場に隣接するJR新駅の開設が想定され、周辺にはレストランや親水公園、高級マンションや一般向けの野外球場を配置し、野球観戦にとどまらない多様な楽しみ方を提供する構想となっている。

図Ⅳ-1-5　北広島市に建設が予定されるボールパーク

©株式会社 北海道ボールパーク
注：掲載画像は2017年2月に発表されたものです。

●エリアマネジメントの実務組織設立

2017年9月、倶知安町で不在地主を含む地権者から徴収した分担金を地域振興に充てる「エリアマネジメント制度」の実務組織として「一般社団法人ニセコひらふエリアマネジメント」が設立された。2014年に道内初のエリアマネジメント条例が制定された後、組織の設立に向けた議論が地域で継続されてきた。町内最大のスキー場ニセコグラン・ヒラフを所有する東急不動産グループのほか、倶知安観光協会などが参画する。

●小樽芸術村の全面開業

2017年9月、株式会社ニトリが小樽市中心部で歴史的建造物を使って整備を進めてきた「小樽芸術村」が全面開業した。同施設は「似鳥美術館」のほか、旧三井銀行小樽支店、ステンドグラス美術館（旧高橋倉庫）、ミュージアムショップ（旧荒田商会）から構成されている。

図Ⅳ-1-6　小樽芸術村

©OTARU ART BASE

●阿寒国立公園が阿寒摩周国立公園に改称

2017年8月、阿寒国立公園が「阿寒摩周国立公園」に改称された。改称に伴い公園の範囲はオホーツク管内清里町の観光スポット「神の子池」周辺まで拡張され、総面積は9万1,413ヘクタールになった。

●美瑛町写真映像協会の設立

美しい丘の風景を撮影しようと、観光客が農地に立ち入るトラブルが相次いでいる美瑛町で、2017年12月に特定非営利活動法人「美瑛町写真映像協会」が設立された。町内の写真愛好家団体「美瑛写交会」「美瑛写真サークル」とプロカメラマンのほか、地元農家や行政も参画する。撮影のルール作りなどを行うほか、写真愛好家にマナーやルールを守りながら町内の美しい丘陵を撮影してもらうツアーなども企画・実施する。

●「クラブメッド北海道トマム」の全面開業

占冠村では、2017年12月に星野リゾートトマムの敷地内に「クラブメッド北海道トマム」が全面開業した。クラブメッドが既存のリゾート内に施設を開く初の事例で、道央から道東へ抜ける主要ルート上の経由地としてだけでなく、国内やオーストラリア、アジア各国・地域からの家族連れをターゲットとした滞在型リゾートとしても人気を博している。

●オール道産ウイスキーの製造・販売開始

2017年11月より厚岸町の堅展実業厚岸蒸溜所でウイスキー蒸留が開始された。これに伴い同月からは蒸留棟を外から見学するツアーも催行されている。

このウイスキーは原料に富良野地方産の大麦を使い、旭川産ミズナラ材の樽で熟成させる初のオール北海道産ウイスキーで、道東の新たな観光資源として注目されている。2018年2月に販売された初商品「厚岸NEW BORN」は即日完売した。

（石黒侑介）